

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 三輪龍介 ◆編集責任者/担当 副会長 高塚康治 ◆制作・編集 第43期総務・広報委員会/委員長 木嶋康之

第44期 副会長・専務理事・参与決定

【副会長】



松井 淳一 会員

平成25年1月入会 昭和50年11月生
(有)渡部 専務取締役
平成26年度 副委員長/平成27年度 委員長/
平成28年度 県出向理事/平成29年度 副会長



権田 和志 会員

平成24年3月入会 昭和50年2月生
(株)味屋コーポレーション 営業部長
平成26年度 副委員長/平成27年度
委員長/平成29年度 県出向理事



高井 賢一 会員

平成17年6月入会 昭和55年4月生
(有)松友 統括マネージャー
平成26年度 副委員長/平成28年度 委員長
/平成29年度 県出向理事

【専務理事兼会計担当理事】



西田 裕志 会員

平成27年3月入会 昭和50年4月生
山陰酸素工業(株) 営業本部 技術部 供給技術
グループ メディカルチーム 課長
平成28年度 副委員長/平成29年度 委員長



橋本 真和 会員

平成26年5月入会 昭和50年6月生
美保テクノス(株) 基礎技術事業所長
平成29年度 委員長



高塚 康治 会員

平成19年11月入会 昭和52年12月生
(株)富士オートメーション 取締役副社長
平成26年度 副委員長/平成28年度 委員長
/平成29年度 副会長

【参与】



竹ノ内 賢一郎 会員

平成19年8月入会 昭和50年5月生
サンククリーン(株) 代表取締役
平成21年度 副委員長/平成22年度 委員長/平成23年度 県出向理事/平成24
年度 専務理事/平成25年度 県監事/平成26年度 副会長/平成27年度 監事
/平成28年度 会長/平成29年度 直前会長

3月例会開催 ～AI・IoTを活用し経営課題の解決へ～

AI 社会の到来で問われる働き方

3月15日(木) スマイルホテル米子にて西田委員長率いる生産性向上委員会により当会への入会検討者の方にも参加いただいた3月例会が開催された。

冒頭の挨拶にて、三輪会長は、成果で測る働き方を考えていくことが、最近の働き方改革にもつながり、今例会のテーマでもある、来たるべきAI社会においても問われているのではないかと述べられた。

続く臨時総会においては、次年度の専務理事、副会長、参加が満場一致にて承認された。



委員長タイムでは、地域交流委員会の堀尾委員長が手がけた建築の解説と旅先の建築物の写真を紹介し、大切なことは初心を忘れるべからずだと改めて感じたと言った。

IoTの導入による業務の見つめ直しを

今回の3月例会は第一部の前半では、株式会社ケイズ執行役員技術本部長の神庭氏より「AI、IoTを活用した生産性向上の取組みについて」のご講演をいただいた。

神庭氏は、今後あらゆる物事はインターネットにつながる1兆個ものセンサーに囲まれた社会になる。5年～10年後には



各分野でIoT化が進み人件費の削減やIoTの活用度が発注条件に含まれる時代が到来するだろうと述べられた。また、この先どの分野においても異業種からの参入が可能になり、GAF A(※1)のように思われ巨艦が唐突に参入するかもしれないと述べられ、中小企業においてもIoTを活用する企業が増えており、人員不足をカメラ等の監視でカバーするなどの運用が既に始まっていると解説された。一方で、IoTの導入は、あくまで手段であり、経営改善には、導入する過程で現状の業務を見つめ直し、勘と経験に頼る部分を掘り下げることが大切であると述べられた。



続いて第一部の後半では、鳥取県産業振興機構 新事業推進部 次世代産業グループの小坪氏より「生産性向上における補助金・助成金の活用について」のご講演をいただいた。



小坪氏は、ものづくり補助金について解説され、「申請に当たってのポイントは、俯瞰した視点を持ちつつ、業界の概況を審査員に分かりやすくレクチャーし、設備を導入することで問題を乗り越えることが出来るというストーリーを提示することである」と述べられた。

新しいものにチャレンジ

第二部のパネルディスカッションでは、IoT導入時の注意点は何かとの質問に対し、神庭氏は「目的を明確にし、現場の意見を取り込む必要がある」と説明された。また、補助金申請の注意点の質問では、小坪氏は補助金を獲得することが目的ではなく具体的な内容を決めることが重要であると述べられた。



最後に会場の出席者へ向けて神庭氏より「IoTという言葉にとらわれず、まずはやってみること、新しいことへチャレンジすることが大切である」とのアドバイスをいただいた。

(※1) Google Apple Facebook Amazon
(記事:生田)

3月例会を終えて



今回の3月例会では国や県が推進しているAI、IoTの活用や生産性向上の取組みに係る補助金の活用について焦点を当て、第1部では株式会社ケイズ本部長 神庭氏にIoT概論、身近なIoT事例及び中小企業のIoT活用について、鳥取県産業振興機構 小坪氏にものづくり補助金の内容、申請書の書き方のポイント及び中小企業で活用できる県の企業支援補助金の紹介についてご講演頂きました。第2部では10月例会で生産性向上についてのアンケートを行った結果に基づき、会員の関心が高かった内容を中心に講師の方々とパネルディスカッションを行い、生産性向上を取組む上での課題解決の一助となることを目的として行いました。例会まで委員会メンバー、講師の先生方と何度も打合せを行い、生産性向上委員会の思いを会員の皆様に伝えられた内容になったと感じております。

そして今回初めての試みとして当会入会検討者にもお集まり頂き当会の活動を見て頂く機会を設けました。今回の例会を見て中央会の良さを感じて入会のきっかけとなって頂けたらと強く願っております。

皆様3月例会ご参加頂きありがとうございました!! 生産性向上委員会は引き続き自己研鑽、中小企業の発展のために邁進してまいります。

生産性向上委員会 西田裕志 委員長

(山陰酸素工業㈱ 営業本部 技術部 供給技術グループ メディカルチーム 課長)

4月例会に向けて

人財・組織活性化委員会 永井拓未委員長

(株)クラム 営業部長



4月例会では山陰から全国、そして世界で店舗展開をされておられる当会現役会員の松田参与に、炉端かばグループにおける人財の発掘・処遇・育成の方法についてご講演頂きます。

松田参与には人財・組織活性化委員会の1月委員会に勉強会講師としてお越しいただき、講演のリハーサルを行いました。ご用意いただいた資料、講演ともにすごい内容で委員会メンバー一同すごく興奮したのが忘れられません。今回講演いただく内容は、中央会会員限定で本例会のために特別に作成いただいたものです。講演で受けた気づきや自分なりの考えを整理し、また、他グループの発表も共有することで知識や方法論を深めるディスカッションも行います。ぜひご出席をお願い致します。



委員会訪問

～地域交流委員会～

せの上ご参加ください！

(記事:高田)

大山お地蔵さまフェスティバル担当委員会の地域交流委員会にお邪魔してきました。

フェスティバルを目前に控え、活発な議論が行われ着々と準備が進んでいます。ポスター等の印刷物も出来上がり、袋詰め作業の日程調整や配布方法や配布時期の調整など、担当するグループが違って無駄やモレがないように打ち合わせされていました。委員会以外にも別日程で集まって打ち合わせや作業をされており、公会堂のスタッフの方から「もう終わってください」と内線電話がかかってくる日もあるとか…。

地域交流委員会の熱意が中心となり、全会員が一丸となって開催されるフェスティバルは5月13日です。皆様お誘いあわ



第3回お地蔵さまプロジェクト、各グループ、リーダー抱負

グループBお地蔵さま関係 リーダー 田中 猛 (田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)

グループBでは第一回お地蔵さまプロジェクトから継続の「お地蔵さま清掃」、「お地蔵さま絵画コンクール」、そして今回初の試みとなる「お地蔵さま創作会」の企画・運営を担当します。

ご参加頂く皆様には大山寺参道沿いのお地蔵さまに手を合わせ、清掃をし、清らかな気持ちになり、園児の純粋無垢な心で描くお地蔵さまの絵画を見て、心安らいで頂きたいと思ひます。そして創作会では心を込めて自分だけのお地蔵さまを作り、お地蔵さまをより身近に感じて頂きたいです。

来年もまた来たい！と思つて頂けるように企画を練り上げ、委員会メンバーとともに全力で臨んでいます。今後は委員会メンバー以外の皆様にもご協力をお願いしたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。



グループCイベント関係 リーダー 上田 康文 (うえだイベント(株) 代表取締役)

我々C班はステージイベントとクイズラリーの企画、運営を担当します。ステージイベントでは地元の伝統芸能、子どもたちの発表を企画しております。事業目的にもありますように、大山の麓のステージで発表、そして観覧したことがいい思い出となることで地元愛促進に繋がればと考えております。

新しい試みとして行うクイズラリーは、参道の店舗に協力頂きまして、大山や参道の事に関するクイズを考えました。そのクイズを通して参道の知識を増やしていただきたいと思ひます。これから本番までに、より楽しんでいただけるように企画を練っていきますので当日はお越しいただければ幸いです。



第3回大山お地蔵さまフェスティバル 事前作業 猛々しく繊細に！団結力が輝いた竹割り作業！

来たる5月の第3回大山お地蔵さまフェスティバルにむけて、竹割り作業が2月24日(土)ピルトミチダ米子支店(米子市大篠津町)にて行われました。地域交流委員会メンバーおよび中央会有志が集い、昨年好評だった「流しそば」の流し台に使用する竹を全員で加工しました。

丸太のような竹を真っ二つにする際には、歓声や拍手、「ヨイショー！」という掛け声が各所から上がるなど、なかなか賑やかな作業現場となっていました。「割る」「磨く」など、どの工程においても各会員が協力してテキパキと作業を進めており、中央会の団結力を感じさせられました。

5月の本番に向け着々と準備が進んでいるようです。当日は皆でフェスティバルに参加して美味しい「流しそば」を食べましょう！

(記事:小坂)



響け中央会

第43期会長 三輪龍介

このハンサムが届く頃には、第43期も最終コーナーに差し掛かっているところでしょうか。

さて、今期この連載では参考になっているのか分かりませんが、私が影響を受けたことなどを書かせてもらってきました。今回は経営コンサルタントの小宮一慶さんが著書に書いておられた「意識改革より小さな行動」を紹介したいと思います。

私が影響を受けたのは「意識を変えたと言っても意識は目に見えない。目に見えるのは行動だ」という内容でした。会社等で問題が起きた時に対策として「意識改革だ」となることがよくあるかと思いますが、変えるべきは「行動」で、ささやかでも目に見える行動(時間を守る、自ら声をかける、電話を3コール以内にとるなど)を積み重ねていくことで意識も変わっていくのではないのでしょうか？

Motto 教えて

新井 翔太 (サンイン・フーズ(株) 主任)

3月某日に、同期会を久しぶりに開催し、楽しい時間を過ごしました。

同期メンバーで一番の思い出といえば、新入会員アトラクションの皆様も経験されたと思いますが、中央会に入って初めて仲間と呼べるメンバーとの出会いでした。私も中央会に入会して約3年が経ちますがこのメンバーはやはり特別に思います。

そこで何が特別に思えるのかと考えました。中央会に入会し誰も知らない中で初めてチームを組むからという事もあるかと思いますが、一番はチーム全員でアトラクションを成功させよう!!という思いから自主練習をし、忙しい中、何回も何回も集まり練習を重ねて臨んだ本番を皆様に披露できた事だと思います。

苦楽を共にする、まさに苦しい事をみんなで乗り越えてゴールした時に笑いあえる、これが絆を深める事なのではないかなと思いました。

これからも同期のメンバーに刺激を受け、助け合いながら一緒に中央会を盛り上げて行けたら良いと思います。



燃えよ龍 我が社の経営力

長谷川恵一 (HASEGAWAテクニカ(株) 取締役専務)

カルテック・ジャパン株式会社改め、HASEGAWAテクニカ株式会社の長谷川恵一です。弊社では農業用の資材の販売、主に肥料の販売を行っていますが、肥料を売るだけではなく使い方すなわち栽培技術指導に力を注いでいます。弊社における経営力とは肥料など製品の質と栽培技術指導などのソフト面のバランスにあると思っています。製品の質・性能がいかに良くても、使い方・説明が上手くできなければ農業は成功しません。逆もまた然りです。弊社は15年以上にわたりメーカーとより良い製品作りに取り組み、メーカーや農家さんたちと更なる技術・ノウハウの向上を目指し続けています。目標や問題をしっかりと見据え、仲間と言える人たちと共に取り組んで行くことが経営力に繋がっていると思います。



現在、当会OB経営の「伯耆のきのこ」と肥料を共同開発中です。当会に参加することで得た仲間や知識なども経営力に結びついていると感じています。

中央会交響曲

監事 濱田 修

影響を受けたものについて考えてみると中央会に入会したこともそうですが、一番はやはり月並みですが家族でしょうか。どうしても考え方の基盤にはある程度、親兄弟の影響があると思いますし、また最近では妻の影響もあると思います。父は隠岐の島から米子に移り住み、現在私が継いでいる会社を興したのですが、色々あった人生経験のせいか、凛とした存在として私の目には映ります。兄は東京でコンサルティング会社を経営しており、非常に行動力のある人間だと思っています。何だかんだ言いながらも、それぞれの言動、姿を無意識のうちに参考としていることもあるでしょうし、人生色々あると思うのですが、親兄弟に恥じない生き方をしていきたいと思います。



TSCサッカー部2018年活動開始 華麗な？加齢な？足技を披露



まだ少し寒さが残る3月6日、TSCサッカー部は練習試合を開催した。これが2018年の最初の活動である。9名の部員が福米西小体育館に集まり、地元のサッカークラブとフットサルで汗を流した。今年最初の活動ということもあり、序盤は動きに硬さが目立っていたが、時間が経つにつれプレーにキレが戻りだした。中には足よりも口の方がよく動く部員が数名いたが、一進一退の好ゲームとなった。しかし、終盤は完全にスタミナ切れ。最終的には敗戦となったが、怪我人もなく、会場に笑い声が響き合う賑やかな時間であった。「定期的に活動したい」と足立駿キャプテンが語っているように、今後もサッカー部から目が離せられない。

(記事:恵比木)

4月役員会報告

平成30年4月2日(月)米子市公会堂集会室6にて開催されました。

当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・3月例会開催報告の件
 - ・4月例会開催の件
 - ・平成29年度OB交流会開催の件
 - ・第3回お地蔵さまプロジェクトの件
- 詳細については各委員長にご確認ください。

4月例会案内

と き:平成30年4月16日(月) 19:00~21:00

と ころ:米子市文化ホール イベントホール

内 容:第1部 講演

『人手不足の現在こそ組織拡大の意識を』

～店舗展開に伴う人財の発掘・処遇・育成～

講師 炬端かばグループ 代表取締役 松田 幸紀 氏

第2部 グループディスカッション

担 当:第43期 人財・組織活性委員会

編集後記

新緑の季節を迎え、歓迎会に花見とまたしても飲む機会が増える季節となりました。

体調管理には気をつけなければならないと思う反面、特に何かを心掛けているわけでもないのが痛いところです。しいて言えば、春眠暁を覚えずではありませんがよく寝ることが私の唯一の健康法です。

(総務・広報委員会 生田 育永)